13 ABT乗車サービスの導入 ｜ 株式会社スルッとKANSAI

プロジェクト概要

協議会におけるバス・軌道社局での①シームレス化による統一サービスの実現、②キャッシュレス化の推進、③働き方改革の推進を目的に、全国共通交通系ICカードのIDをキーにし、ABTシステムを活用した定期券サービスの共通基盤を構築し、参画する社局(バス・軌道)の全国共通IC化率を向上させる。

課題

- 既存の交通系ICカードでは、協議会加盟社局のIC定期券サービスの実現が困難であり、ハウスICカードまたは紙券による定期券サービスを提供している。
  そのため、交通系ICカードによる鉄道との連携が難しく、公共交通としての一体的なサービスが提供しづらい。

取組内容

- ABT乗車サービス(定期券・企画券サービス)の共用システム構築に関する取組内容
  - 交通系ICカードのIDに紐づく「乗車権利情報(定期券・企画券サービスに関する情報)」及び「顧客情報(利用者・販売情報)」をセンターで管理するシステムを構築する。
  - 交通系ICカード利用により、定期券利用がODデータとして取得可能。
  - 乗車権利情報を定期的に導入社局の車載機器等に配信するシステムを構築する。
  - ABT乗車サービスを導入社局での共用システムとして構築する。

《参考　導入社局で別途構築が必要な取組内容》

- 導入社局の車載機器等では、配信された乗車権利情報と利用者の交通系ICカードのIDを照合し、乗車有効可否の判定や有効区間外・期間外利用(乗越含む)の判定に対応する仕組みを構築する。

事業要件

- 標準業務モデルの導入によるサービス品質向上(標準化)

技術要件

- 乗降実績データ標準仕様書(鉄道・バス)

効果

- 協議会視点
  - 共用システムの活用により、シームレス化による統一サービスの提供を実現。
  - キャッシュレス化の推進により、導入社局の乗降実績のデータ化促進を実現。
  - 導入社局視点
  - 乗車サービスのICカード化による検札業務の簡素化、偽造防止策の強化による運賃脱漏防止、定期券販売・決済方法の多チャンネル化による窓口業務の簡素化・省力化を実現。
- 利用者視点
  - お持ちの1枚の交通系ICカードでよりシームレスに利用できる。
  - お客様のスマートフォン・パソコン等Webを通じてお得な乗車サービスを登録することが可能になり、購入環境が改善され、利便性が向上する。

事業実施自治体・エリア

スルッとKANSAI協議会エリア
(2026年度 姫路市ほか兵庫県南部)

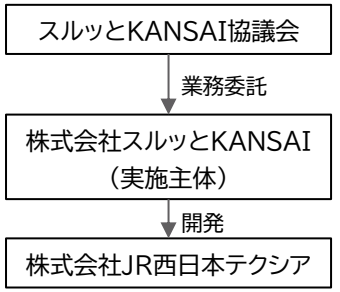
交通事業者

バス:神姫バスグループ
※車載機器等を整備することでABT乗車サービス提供が可能

アプリ・システム等

- ■ ABTシステム:iCONPASS
- ■ データ取得方法:交通系ICカード(ODデータ)、ABTシステム(会員・販売情報)
- ■ データの活用方法:ダイヤ・サービス系統の再編、大都市交通センサス等

座組



スケジュール

2026年4～12月
要件定義・システム開発
2027年1月　システムリリース

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.